

59億9,500万円

一般会計予算総額は、59億9,500万円で、令和5年度に比べて1億6,500万円、2.8%の増となりました

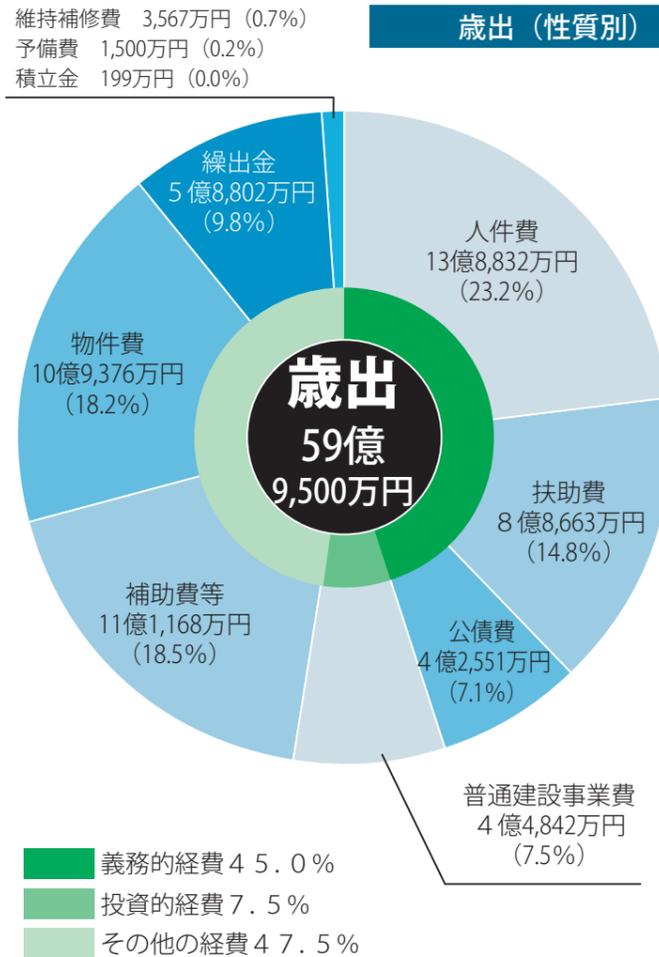
歳出（目的別）

民生費	18億9,847万円	(31.7%)
教育費	8億6,265万円	(14.4%)
総務費	8億3,299万円	(13.9%)
衛生費	5億9,775万円	(10.0%)
土木費	5億4,705万円	(9.1%)
公債費	4億2,551万円	(7.1%)
消防費	3億3,459万円	(5.6%)
農林水産業費	2億8,972万円	(4.8%)
商工費	1億2,269万円	(1.7%)
議会費	8,837万円	(1.5%)
予備費	1,500万円	(0.2%)
労働費	21万円	(0.0%)



次のページでは、令和6年度の主な新規事業や重点事業を紹介します。

歳出（性質別）



会計別予算額と前年度比較

会計	6年度予算額	5年度との比較
一般会計	59億9,500万円	1億6,500万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,769万円	2,318万円
国民健康保険特別会計	19億8,262万円	△3,324万円
介護保険特別会計	13億6,216万円	4,264万円
下水道事業特別会計	—	△2億1,547万円
下水道事業会計	3億4,609万円	3億4,609万円
合計	99億1,356万円	3億2,820万円

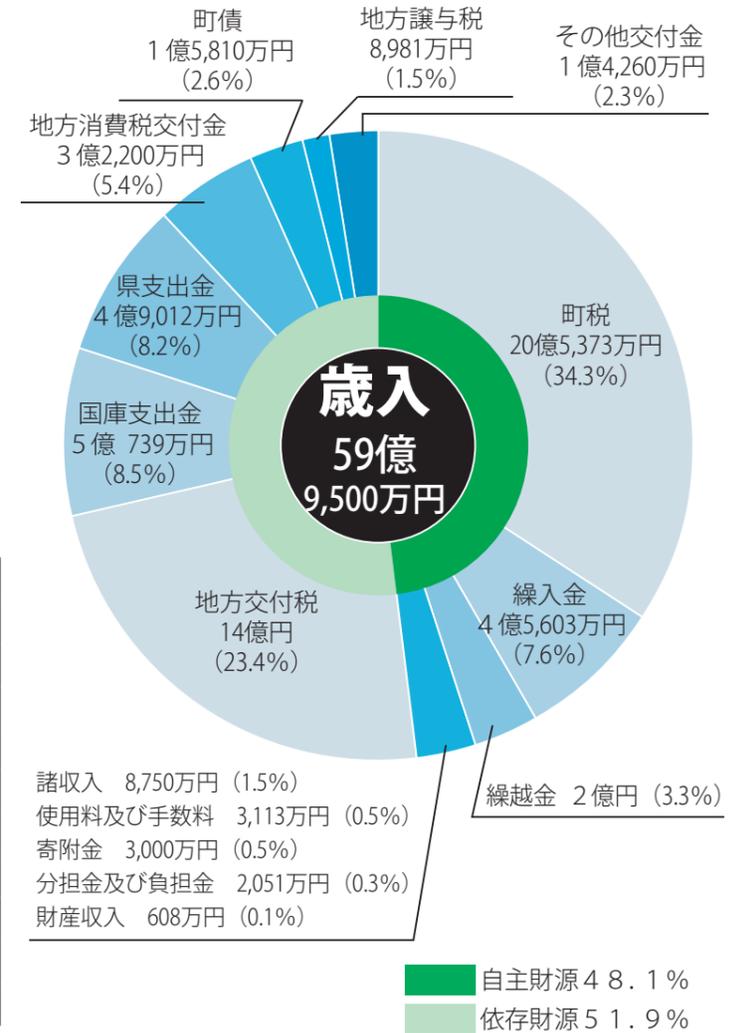
令和5年度で「下水道事業特別会計」は終了し、令和6年度からは公営企業会計に移行した「下水道事業会計」になります。

積立金（貯金）残高

会計	令和4年度末	3年度末との比較
一般会計	37億3,244万円	5億93万円
国民健康保険特別会計	9,545万円	1,126万円
介護保険特別会計	2億2,275万円	3,302万円
合計	40億5,064万円	5億4,521万円

町債（借入金）残高

会計	令和4年度末	3年度末との比較
一般会計	42億833万円	△8,435万円
下水道事業特別会計	3億6,948万円	△8,567万円
合計	45億7,781万円	△1億7,002万円



用語解説

- 地方交付税** 財源不足を補うために、国から町に交付されるお金
- 国庫・県支出金** 特定の目的のために国、県から交付されるお金
- 町債** 公共事業などの財源として国や金融機関等から借りるお金
- 地方譲与税** 国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金
- 投資的経費** インフラ整備など、将来に残るものに支出される経費
- 公債費** 町が借り入れた町債の元利償還金
- 繰出金** 一般会計から特別会計に支出されるお金

全会計当初予算

一般会計、特別会計および公営企業会計を合わせた全会計の予算総額は、前年度に比べて3億2,820万円、3.4%の増となりました。

問合せ 財政係
8216126

性質別では、人件費が多く、次いで補助金などで交付する補助費など、その次に事業委託や物品購入などの物件費が多くなっています。

歳出

目的別では、福祉関係の費用である民生費が約18億9,847万円と最も多くなっています。また、西小学校体育館や中学校校舎、公民館の大規模修繕を行うため、教育費が8億6,265万円となっており、令和5年度当初予算から増加しています。農林水産業費は、小保呂排水機場の施設整備、土木費は八間樋橋の撤去工事が終了したため、令和5年度当初予算と比べ減少しました。

歳入

歳入の根幹である町税は、20億5,373万円で、令和5年度当初予算と比べ微増を見込んでいます。交付金や交付税は、令和5年度末の状況や、国の動向などを参考にして増加を見込みました。負担金を受けて実施する事業が終了したため、分担金及び負担金が大きく減少します。国の補助を受けて実施する事業が減ったため、国庫支出金は減少、県の補助を受けて実施する事業が増えたため、県支出金は増加しています。各施設の大規模修繕に伴い借入をする予定のため、町債が3,090万円増加しています。